Profile 49(昭和24)年生まれ。79(昭和54)年、80(昭 和55)年、「蛍光ランプ製造方法」で発明奨励賞受賞(社団 法人 発明協会)。93(平成5)年、NEC退社、同年タカ コ精機(株)入社。00(平成12)年、タカコ精機(株)退社、 同年トキワ精機(株)入社。05(平成17)年、トキワ精機(株) 代表取締役社長に就任。趣味は推理小説を主とする読書



ー 省力化機械や設備の設計や製作、産業機械の販売を手掛けるトキワ精機。か じ取り役の池内要一さんは、誰よりも友達が多いことを自慢にしたいと、取引先や同 僚、先輩、後輩など、"出会った人はみんな友達"として付き合う生き方を貫いている。 これがトキワ精機の躍進をもたらし、池内さんの人生を豊かなものにしている。

女子社員の多さで就職先を選ぶ

「女子社員が多そうだから」。

約40年前、就職は人生の一大事で、一度 入社したら"一生お世話になる"という風 潮が強かった時代に、池内さんは既存の 価値観に縛られない自由な発想で社会人 生活をスタートさせた。

1949(昭和24)年生まれの団塊の世代。就職 に際し、最初は重工業会社を目指した。1 社目が不合格になり、別の会社を受けて いる最中に、受験者には女性がほとんど いないことに気づいた。「**これでは寂しい** 人生になりそうだ。女性社員の多い家電

を扱う電機メーカーを受けてみよう」と、 まだ就職に間に合うNECを受験した。

思い入れの強い動機でパワーが倍増した のか、試験は見事にクリアした。配属先 は蛍光ランプの製造現場だった。「熱を使

うので暑いから行きた くない」と申請した部門 だったが、結局退社す るまでの20年間携わり 続け、ひと味違う発想で、 ユニークな生産技術を次々 と開発していった。



「私のチャレンジ人生」へのご意見・ご感想はこちらから ▶ www.gaido.jp/3223

例えば、NECの蛍光灯のガラス管につい ている"謎の印"も池内さんのアイデアに よるもの。NECの蛍光ランプは、36個の 製造機具を並べたラインで36本ずつ作っ ている。不良品が出るとラインを一旦停 止して、すべての機具を調べなければな らなかった。全機具チェックを面倒に感じ、 不良品を出した機具が分かるようにすれば、 問題のある機具を修理しながら他の機具 では生産を続けられると気づき、機具で とに異なる印をランプに印刷するように した。歴代の担当者にはない工夫だった。 「面倒なのが嫌」。という発想を子どもの ころから持っていた。たとえば、チャン

バラ遊びの刀を作るにも、木を削るのが

面倒と、皮をむきやすい種類で、まっす

ぐな木を見つけて、握る部分以外の皮を

ツルンとむいて完成させた。遊び仲間か ら尊敬されていた。 仕事で発案した特許は約 100件あり"発明者"に支 払われる会社からの報奨 金は年間に数十万円から 100万円近くになった。

一つづく一 (取材・越智田)

「ヴァン ド キッチン」 は長浜市六荘公民館 (通称:六角館)北側 の、静かな住宅地の 中にある。季節の野 菜がたっぷりの色鮮 やかなランチの評判 が良く、特に女性に

人気がある。今回取材したのは 【日替わりお肉料理

毎日新聞

デザートセット】(1380円)

・日替わり肉料理 ・スープ・サラダ

パン又はライス ・ドリンク ・デザート3種盛り 取材日の肉料理は、バジルソー

スの香りがよい豚肉と夏野菜の ソテー。ブロッコリー、ナス、 カボチャ、サツマイモ、トマト、 ニンジン、シシトウなど、見る からに鮮やかな夏野菜がたっぷ り入っていた。トマト風味のスー

プは、具だくさんでリッチな気

●営業時間:平日、土11:30~14:30(L0.14:00) 17:00~21:30(L0.21:00) 日、祝 11:30~14:30(L0.14:00)

17:30~21:00(L0.20:30) ●TEL:0749-62-7643

●長浜市勝町465 ●定休日:水曜日



分になり、ライス は長浜市口分田町産 の「こだわり米」だった。

デザートは自家製シフォンケー キとシャーベット、ムースとさ まざまな味を楽しめた。

「手作りであること▽新鮮である こと▽季節を感じてもらえるこ と―の3点を大切にしています。 洋食は季節を表現しにくいので、 野菜や魚を工夫し、季節感を味わっ てもらえるようにしています」と オーナーシェフの坂松志郎さん。 新鮮な季節の素材を味わっても らおうと考え、メニューを「日替 わり」にしている。

素材の味を大切にした料理が心 を和ませてくれるのか、ゆっく りくつろいでいくお客さんが多 いという。 (取材・高原)



あまたと歩くばり

伊庭の里(東近江市・能登川)

伊庭内湖で知られた伊庭はその昔、大津、松原(彦根)、長浜、米 原に次ぐ、びわ湖水運の拠点港でした。

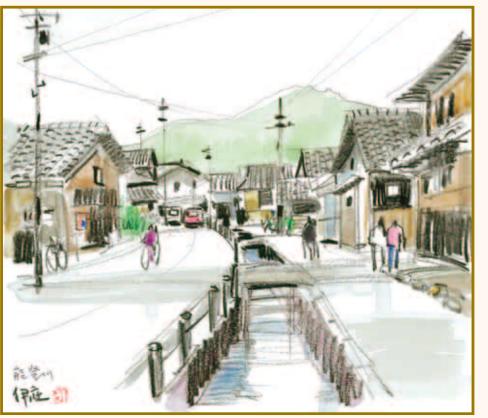
また、佐々木源氏の支流である伊廷氏が、1190年~1199年まで、 伊庭城の城主として地域を治めていました。

中世は、「伊庭千軒」と言われるほどにぎやかな集落でした。安土 城と隣接するこの地は、信長も戦略上大いに活用したことでしょう。 現在は、5月3日の「伊庭の坂下し」が県内では有名な祭で、3基 の神輿が急坂を下ります。

画家にとっては抜群に絵になる地区で、他府県の方々にも紹介し たい、近江の歴史文化香る湖畔の里です。

●伊庭 JR能登川駅よりタクシーで10分。

絵と文・寺田みのる



県内の風景を描きに、寺田さんがあなたの町を訪れるかも。住所、氏名、電話番号、掲載希望場所を明記してお寄せください。 インターネットからは ♪ www.gaido.jp/mt 〒523-0893 近江八幡市桜宮町294 YP1 株式会社ヤマプラ 滋賀ガイド・Oh! Me 編集室 「あなたと歩く近江」リクエスト係 まで



毎日新聞

ス「近江串焼コース」3,150円、「焼うなぎ重鮎3尾コース」3,150円 も大人気。今が旬の鮎料理のお食事券3,150円を3名様にプレゼン ト!さらにご応募いただいた中から10名様に鮎1尾引換券(3,150円 以上のコースのお食事に限りご利用いただけます)をプレゼントし ます。〔今なら毎日新聞を見たと言っていただいた方にデザートを サービスさせていただきます。8月31日まで〕



ください。

(第3種郵便物認可)



〒520-0501 滋賀県大津市北小松996-2 **5** 0120-014-665 http://www.sho-sui.com/



「湖都古都・おおつ1dayきっぷ」は京阪電車の大津線が1日乗り放 題! おまけに、見せるだけで沿線のいろんなお店や施設で特典を受 けられたり、社寺の拝観料が割引されたり、おトクがいっぱい! こ の他、大津線と京都市営地下鉄が1日乗り放題の「京都地下鉄・京阪 大津線1dayチケット」や大津線と京都市営地下鉄・嵐電が1日乗り 放題の「京都嵐山・びわ湖大津1dayチケット」も是非ご利用くださ い。詳しくは駅のパンフレットをご覧ください。



湖都古都・おおつ 1dayきつぶ(大人用)』 (500円相当の品) をプレゼント

はがきにて右記宛に ご応募ください。

〒520-0806 滋賀県大津市打出浜3-16 株式会社 滋賀毎日広告社

ふるさとほっと「難





オブジェのような美しいものからさわってみたくなるキュートなものま で、品揃えは日本トップクラス。ジューシーガーデンでは、ガーデン雑 貨もそろえています。詳しくは、HPを要チェック!!

そとや工房ではデザインから施工まで一貫してお庭づくりをサポート します。外まわりのことなら何でもご相談下さい。









add 〒520-3024 滋賀県栗東市小柿6-1-2 tel 077-551-3530



「秋の詩」は、「コシヒカリ」と「吟おつみ」といつ2種類のお米を 交配して育成されました。和食・洋食・中華などさまざまな料理 によく合うお米を、という意図で開発され、食べやすく、ほのかな甘み が特徴です。「秋の詩」は滋賀県で育成され、滋賀県だけが生産する まさに「近江のお米」です。



近江米振興協会

http://www.ohmimai.jp/ 近江米振興協会 模索